



すみ しょうぞう
角 莊 三 氏

生年月日 昭和 6 年 1 月 20 日生

住 所 田辺市秋津町

昭和 6 年 (1931 年) 1 月 20 日、鳥取県境港市に生まれる。

昭和 26 年 (1951 年)、和歌山県教育委員会採用、周参見中学校を振り出しに、教諭として東陽中学校、高雄中学校に勤務の後、田辺市教育委員会学校教育課長、高雄中学校長などを歴任。

退職後、田辺青少年補導センター長に続いて、田辺市教育長を 2 期務めるなど、通じて約半世紀にわたり教職及び教育行政に深く携わり、その豊かな見識と強い信念、卓越した指導力をもって本市教育の充実・発展に尽力。

特に氏は、音楽の分野に造詣が深く、昭和 35 年 (1960 年) には田辺地方の音楽愛好家たちが団結し、田辺市で初めてのオペラ「手古奈」(文部省委嘱公演)の管弦楽編曲と指揮を担当、その成功に大きく貢献したほか、バレエ組曲「宝石」(昭和 37 年 (1962 年)、法村・友井バレエ団により大阪フェスティバルホールにて公演)をはじめ、数多くのバレエ音楽の作曲に取り組んだ。

また、合唱曲の作曲にも取り組み、昭和 40 年代に氏が作曲し、音楽之友社から出版された中学生のための合唱曲(「空は青い広場」、「雪溪より」他)は、当時各地のコンクールなどでよく取り上げられたが、さらに昭和 46 年 (1971 年)の「第 26 回国民総合体育大会(黒潮国体)」の開催に際し、その開会式において約 700 人が大合唱した「黒潮国体賛歌」の作曲を担当したほか、平成 9 年 (1997 年)の和歌山県民体育大会の入場行進曲にも使用された「第 2 回全国アウトドアスポーツフェア賛歌」等、吹奏楽や管弦楽の作曲にも力を注ぐ。一方、近年、オペラの名場面からの編曲をも手がけ、ヴェルディほかの著名なオペラから編曲した 6 曲の女声五重唱曲は、東陽中学校合唱部選抜メンバーにより、たびたびコンクールで歌われ、好成績を収めているが、中でもオペラ「椿姫」からの「ピキロは闘牛士」など 3 曲の重唱は、こども音楽コンクールにおいて全国 1 位となり、文部大臣賞を受賞。このほか田辺工業高校や衣笠中学校など、近隣の小・中学校、高校等の校歌、保育園の園歌などの作曲も多数手がけており、こうした作・編曲を通して当地域の教育・文化の振興・発展に大きな足跡を残した。

第 35 回 (平成 16 年)

なお、氏は、今後、生涯学習社会にあつて地域文化の振興、情報発信の中心的役割を果たすべき文化協会組織の必要を唱え、その設立に向けて平成 3 年 (1991 年) 12 月に田辺市文化協会設立準備委員会の委員長に就任、田辺市文化協会設立の中心的存在として尽力し、引き続いて翌 4 年 (1992 年) 10 月に設立を見た同協会の初代会長として「文協フェスティバル」や「文化講演会」等の事業に取り組み、その運営の道筋をつけた。

このように多年にわたり本市教育の向上と広く地域文化の振興・発展に尽くした氏の功績は誠に多大である。

(略 歴)

日本大学文学部卒業

昭和 26 年 (1951 年) 6 月 西牟婁郡周参見町立周参見中学校助教諭・教諭

昭和 34 年 (1959 年) 4 月 田辺市立東陽中学校教諭

昭和 50 年 (1975 年) 4 月 田辺市立高雄中学校教諭

昭和 55 年 (1980 年) 4 月 田辺市立高雄中学校教頭

昭和 56 年 (1981 年) 4 月 田辺市教育委員会指導主事

昭和 59 年 (1984 年) 4 月 田辺市教育委員会学校教育課長

昭和 61 年 (1986 年) 4 月 田辺市立高雄中学校長

平成 4 年 (1992 年) 4 月 田辺青少年補導センター長

平成 6 年 (1994 年) 7 月 田辺市教育委員会教育長

平成 3 年 (1991 年) 12 月 田辺市文化協会設立準備委員会委員長

平成 4 年 (1992 年) 10 月 田辺市文化協会会長

(受賞歴)

平成 14 年 (2002 年) 秋 勲五等双光旭日章 (教育功労)

平成 14 年 (2002 年) 5 月 田辺市市政功労表彰 (教育功労)